

笹川流れの岩

日本海の荒波に浸食されて出来たユニークな奇岩・巨石を横目で見ながら、新潟県村上市の海岸線を車で北上した。海と山が迫った僅かな海岸線をJR羽越本線と並行して走った。ここは「笹川流れ」と呼ばれる全長 11km の日本百景にも選ばれた美しい海岸線が続く名所であった。この名称は中心地である笹川集落から沖合いの岩場にかけて、岩の間を盛り上がるように流れる潮流があることからそう呼ばれている。

私が住む神戸では源平合戦の源義経の英雄伝が伝えられている。一の谷の合戦での「鶴越の逆落とし」の奇襲は有名な話。その義経が終焉の地・奥州に落ち延びて行く際、笹川流れ付近の海岸を小舟で通ったと伝えられている。その美しい景色を義経公に見せようと、家来がわざわざ呼び戻したことから付いた「君戻しの岩」と名付けられた。



また義経公の労苦をねぎらうために、船上にてこの岩をバックに家来が舞を舞ったことから「舞子岩」と。義経公がこの岩を見てニタリニタリと笑ってしまったことから「ニタリ岩」。私はこれら主君と家来の美しい師弟関係に、思いを馳せながら遠き昔を思い浮かべていた。

日本海の自然の力によって出来た芸術は、こうした奇岩、絶壁、怪石、孤島、洞窟、海門を作り出した。それは人間の力・創造を遙かに超えており今まさに刻一刻と変化は続いているのだ。そうしたことからこの海岸は国指定名勝及び天然記念物ともなっている。 撮影 2013 年春

